

# 博士後期課程Ⅱ期

令和5年度 武蔵野大学大学院

環境学研究科 環境システム専攻 博士後期課程 入学試験問題 (1月8日)

[ 専門に関する筆記試験 ]

注：答案用紙には問題番号、問番号を記入すること

**問題1** 先日、国連気候変動枠組条約第27回締約国会合(COP27)が開催され、温暖化に起因する災害等による「損失と損害」を支援することについて合意がなされた。気候変動に対する「緩和」や「適応」については、今後さらに重要になっていくが、「緩和」や「適応」に対して国(国内、国際連携)や民間セクターなどのセクターが担うべき役割について、いずれかのセクターを取り上げ、①どのような役割があるか、②その役割を果たすために現在何が課題となっているか、400文字程度で考えることを記せ。

**問題2** 次の項目(1)~(10)の中から好きなものを2つ選び、それぞれ100文字程度で説明せよ。

- (1) 温室効果ガスのサプライチェーン排出量
- (2) CSV (Creating Shared Value)
- (3) サーキュラーエコノミー
- (4) 紛争鉱物
- (5) ワシントン条約
- (6) プラスチック資源循環促進法
- (7) ストックホルム条約
- (8) 30by30
- (9) わかしお座礁石油流出事故
- (10) 海洋生分解性プラスチック

**問題3** 次の(1)~(2)のどちらかを選択し回答せよ。

(1) リチウムイオン電池はスマートフォンやノートパソコンに使われている充電式の電池である。このリチウムイオン電池の普及は将来的に持続可能な社会にどのように貢献できるか、また二酸化炭素排出や環境汚染から考える現状の課題が何か。リスクトレードオフやLCAの観点に留意しつつ下線部について300文字程度で考えることを記せ。

(2) 持続可能な社会に向け、企業や組織が今後、環境問題や社会課題に取り組むにあたり、環境・社会的責任と企業価値の両立の観点から、その必要性(不要性も含め)、進めるための組織や社会としての課題、今後のあるべき方向性などについて、300文字程度で考えることを記せ。